

サイバーセキュリティ研究 のグレーゾーン ～パネルディスカッション～

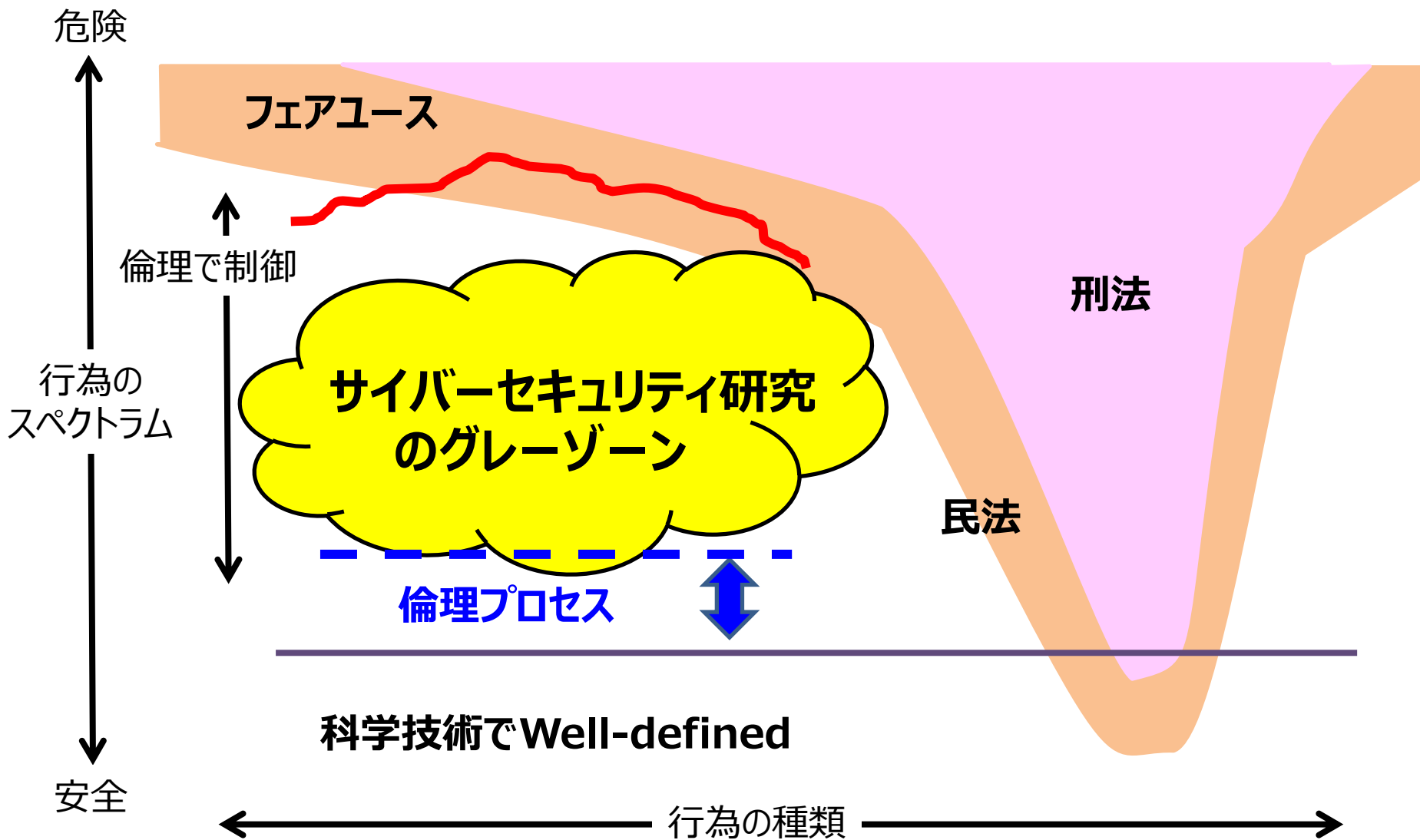
CSS2018 @会場B-浅間B
2018年10月24日 10:35～11:55

モデレータ+パネリストの紹介

- モデレータ：
 - 寺田 真敏 (日立製作所)

- パネリスト：
 - 北條 孝佳 (西村あさひ法律事務所)
 - 高木 浩光 (産業技術総合研究所)
 - 吉峯 耕平 (田辺総合法律事務所)
 - 吉岡 克成 (横浜国立大学)

問題領域の構造(©篠田陽一@JAIST)



ディスカッションの進め方

- サイバー技術を扱うことは、技術者による様々なサイバー事件にもあるように、思わぬ事態を引き起こすことがある。特に、サイバー技術を使う研究活動・技術開発をする上で、**①どのような行為が社会に取って好ましくないのかが立場によって解釈に違いが見られることもある。**
- また、その一方、**②研究開発コミュニティへの萎縮を招くことがあるとなると、我が国の研究開発自体への悪影響も予想される。**本セッションでは、あまりオープンに議論されることがない、特にサイバーセキュリティ技術・研究のグレーゾーンについて、法曹関係者も含めた有識者による講演とパネル討論を通じて、多面的に現状と今後について議論する。

ディスカッションの進め方

- **トピック1：①立場による解釈の違い（40分）**
 - 「立場によって解釈に違いが見られることもある」に関連して、パネリストの意見を聞いてみよう。
- **トピック2：②研究開発コミュニティが萎縮しないために（20分）
～意識しなければならない倫理プロセス～**
 - どこまでやっていいの？の基準って、なんだろう。
 - 「サイバーセキュリティ研究のグレーゾーン」で、研究当事者もさることながら、指導者となる先生/管理者が心掛けるべきことって、なんだろう？
- **トピック3：②研究開発コミュニティが萎縮しないために（20分）
～最近気になった事例について～**
 - 我々でできる、取り組まなければならないことって、なんだろう？

ディスカッションの進め方

- **トピック2：②研究開発コミュニティが萎縮しないために
～意識しなければならない倫理プロセス～**
 - どこまでやっていいの?の基準って、なんだろう。
 - 「サイバーセキュリティ研究のグレーゾーン」で、研究当事者もさることながら、指導者となる先生/管理者が心掛けるべきことって、なんだろう?
 - 参加者のみなさまへ、「サイバーセキュリティにおける倫理プロセスで困っていることってなんですか?」

ディスカッションの進め方

- **トピック3：②研究開発コミュニティが萎縮しないために
～最近気になった事例について～**
 - 我々でできる、取り組まなければならないことって、なんだろう？
 - 参加者のみなさまへ、「最近気になっている心配事ってなんですか？」

- **セキュリティー会社社員逮捕 ウイルス保管容疑**
- **違法マイニングで摘発 仮想通貨獲得で不正アクセス**

まとめ

- パネリストの皆様から、セッションのまとめとして、「②研究開発コミュニティが萎縮しないために」に関してひとこと、お願いします。